

ふれあい通信

しあわせの村仮設住宅自治会発行

ふれあいセンター ☎ 078-743-9868

仮設住宅に入って早や一年以上を経て、その間新しい住宅にはかねてから関心を持ち続けていました。

災害復旧住宅に応募の際は元の居住地近辺を捜しましたが、適当な所がなく、東灘の魚崎に建つ予定の県営住宅を申し込みました。当然のこととして倍率も高く、諦め半分、希望半分でしたが、幸運にも仮当選しました。正直なところほっと一安心です。その間新しい場所での生活に対する「心づもり」をしてゆきたいと思います。「気にいったところが無い」ということで申し込まなかった人もおられる、と聞いています。今後とも皆さんの希望に添った場所に公営住宅が一户でも多く建設されるよう願わずにはいられません。それと「後数

復興住宅に仮当選して

自治会副会長 岩本 一 夫

年は、仮設でなんとか一年という感覚は捨てて、新しい住む場所への積極姿勢を示す時ではないか、と思うのですが、いかがでしょうか。

寒暖の差の激しさに悩まされながら、ご近所の方々、多くのお付き合いの送り先があるお付き合いの中で、明るい生活を送ることができました。ふれあいセンターでの日々がとくに印象に残ります。お互いが被災者ということで通じ合い、楽しい行事が行えたのではないかと、思います。まだ先のある仮設暮らしです。この雰囲気や大事にしなからやってゆきたいものです。

あつと云う間に一年が過ぎてしまった感じが、この月にはセンターが出来て一周年に当たります、お知らせにもある通りの催しがあります。おおいに楽しみましょう。

かりん

被災して立ち上がった七十歳のYさんの話を紹介しよう。三十年住み慣れた東灘の自宅が全壊し、周辺十軒の人々と自衛隊のテント村に入った。「雨の日はじめでねえ。人生の悲哀とはこういうもんか、思いました」としみじみ。トイレに難渋し、風呂に困り、奥さんといかがわしいホテルに通ったという。◆しかし大きな収穫があった。テントでみんなと雑談しながら食事をするうちに、奇妙な友情が芽生えてきた。それぞれ元の職業はサラリーマン。朝、出会ってもあいさつも交わさない関係だったが、お互いが被災者という連帯感の日を追ってじわじわ深まっていった。「コミュニケーションというより、われわれは戦友ですよ」。震災と戦火。それをくぐりぬけようというときの「きずな」は強いはずだ。◆Yさんの奮闘はそこから始まる。「みんなでの復興住宅を建てまへんか」と提案した。自己資金をどうするか、など難問は山積みしたが、粘りで何とか乗り切り、十二軒中十一軒の了解を取りつけた。業者との交渉も口八丁手八丁。等価交換基本契約を結んで、五階建てマンションの着工に漕ぎ着けた。間もなく竣工する。この成功を「みんなのふるさとへの強い思い入れでしょう」とYさんはいう。いやいや、災難を苦にもしないあなたの明るさと、強い意思のあるリーダーシップですよ。

手芸同好会の懇親会

今年のしあわせの村祭りで、仮設住宅の有志の皆さんがバザーに参加し、たくさんの品物を見事に売りさばいた腕前のほどは、前の号で紹介しましたが、そのあと八月下旬に、村内の野外活動センター「おおぞら」で一泊二日の打ち上げ会を催し、楽しく過ごした思い出が忘れられず、今度は手芸同好会の皆さんが十月二十四日に懇親会を催しました。



会場はたんぼの家のレストランで、十七名の会員が参加して、とても楽しい午後ひとときをすごすことができました。お話の内容は日頃の出来事から手芸のことなど、なんともたあいのないことばかりですが、そここそお互いの親しみが一層増してくるわけです。またこんな機会を持ちたいものです。

趣味の会グループの紹介

いま私たちの仮設住宅では次のような趣味の会のグループがあります。

◎民謡部 河内音頭その他、よく親しまれた民謡を楽しんで習い、歌っています。

二週間に一回やっていますので、ご希望の方は自治会役員の方へ申し込んで下さい。

◎手芸部 毎週木曜日、センターで毛糸編み物を主にした手芸品を作っています。「帽子、小物入れ、巾着袋、ルームシューズ」その他いろいろです。手芸をすることも面白いですが、それ以上に集まった人たちと楽しくおしゃべりするのが、一番健康的な団らんです。どうぞみなさんも仲間に入ってください。

◎カラオケグループ 毎週水曜日、午後一時からセンターでカラオケの会をやっています。カラオケセットには「なつめろからポップス」まで二千曲近いレパートリーがありますので得意な歌、好きな歌を選んで思っきり歌ってください。無料です。

自治会からのお知らせ

★ふれあいセンター開所一周年記念 早いもので十一月十七日で、ふれあいセンターが開かれて一年になります。そこで役員で話し合い、楽しい催しを行うことにしました。紅白まんじゅう、幕の内弁当、缶ビール、日本酒（ワンカップ）等を用意します。また盛大にカラオケ大会を開く予定です。皆さんそろってお出かけください。

★水墨画（絵画）を習ってみませんか！
水墨画は黒白のコントラストをうまく使って墨の濃淡と筆さばきで描かれた、油絵とは一味も二味も違った絵です。まず簡単なものから習ってみられてはどうでしょうか。先生にはシルバークレッツの福永勇さんが、ご好意で教えに来て下さいます。皆さんこの機会に水墨画を習ってみませんか。ご希望の方はセンターまでお申込み下さい。

★正月企画にアイデアを 早いもので間もなく仮設で二度目の正月がやってきます。今年の正月は「寂しかった」という声も聞かれました。もうごめんです。ふれあいセンターでは年越しそばを振る舞う計画もたてていますが、このほかにも楽しいアイデアがあります。したら、どんどんセンターへお寄せ下さい。
★公衆電話が設置されました 先月から、ふれあいセンターの前に新設されました。ご利用下さい。

ひと雨ごとに秋が深まってゆきます。そしてあわせの村外周道路に植えられたカリンの木にも、たくさんの黄色の実が見えます。この実から作るカリン酒は風邪によく効くという事です。

今回は室町時代から続く千年家を訪ねてみましょう。現存する日本最古の民家の一つ、国の重要文化財にも指定された、破格的に古い形式の家として知られています。

先年、兵庫県の東播用水事業のため、此処に吞吐ダムを建設、この家も湖底に沈むことになり、旧位置から約七十メートル東南に移され、それに伴い初めて解体調査が行われ、長い間の謎を解くことが出来たそうです。

箱木千年家

移築前は入母屋造り平屋建て、南北に三部屋づつ並んだ六間取りの民家でしたが、今回の解体で桁、梁など古材が残っていて、土間に沿う二室は室町時代のもの、後の四間のうち西端の二間は江戸中期、中の間は仏間として建て増され、全体を一つにまとめた事がわかり、復元再築のさい中間部分を取り除き二棟にしたそうです。

当時縦挽きの鋸がなく、ちよな（手斧）

で仕上げた粗削りの柱や、中央の黒光りした板壁など、まだ畳を敷きつめる事のなかった古い民家の様子が良く判ります。それにしても村の有力者の家でありながら、室数の少ないのは時代の古さを思わせると共に、当時の一般農家がいかに小さく、粗末であったかを物語っています。

その外古い屋敷図、武器、民具など、また移築前の千年家の模型なども展示され、箱木



家の女主人はかなりの御年輩のかたですが、詳しい説明と案内をして下さい。

吞吐ダムによってできた衝原湖の周辺は素晴らしい景色です。千年家の見学の後、のんびり自然を楽しみながら歩いてみて下さい。交通 神戸電鉄、みの谷駅から市バスで約十分、衝原行き終点下車。山陽電鉄、須磨寺駅から北東へ徒歩約十分、月見山駅から北西約十分です。（I・O）

近辺の仮設住宅訪問

しあわせの村仮設住宅は、北区内では一番大きな住宅集団です。そこで他の地区の仮設住宅の様子はどんな状況なのか、一度お訪ねしてみることになりました。

北区内だけで仮設住宅は四十八カ所、約五千八百戸ありますが、しあわせの村周辺だけでも五カ所（星和台南、ひよどり台南第一、第二、ひよどり台第一、第二）あります。先日この内の二カ所の仮設住宅にお邪魔しました。

一、ひよどり台第一仮設住宅（北区ひよどり台二一八）戸数 八十戸、実所帯数 七十九、一人所帯約 四十三%、会長 小竹大一郎氏。

二、ひよどり台第二仮設住宅（北区ひよどり台四丁目）戸数 五十戸、実所帯数 三十七、独居老人 七名、所帯平均人数 二人、会長 新井倫寿（もりとし）氏

どちらの住宅とも会長さんに、お話を伺いました。

まず小竹会長の意見で、現在もっとも重要な問題としては、まず転居後の生活資金の確保であるとのこと。たとえ公営住宅に当たったとして、入居後の生活自体に支障をきたすようでは何にもならない。そのため第一目標として少なくとも最低三百万円程度の資金確保を望んでいる。行政側としての早急な援助施策を要望したい。と情熱をこめて語られました。

した。

仮設の住民の方々の現状については、あまりお伺いする時間がありませんでしたが、とにかく皆さんが外へ出てスポーツでもなんでもお互いの交流をするのが望ましいとの意見でした。

第二住宅の新井会長のお話では、女性のみなさんは、ふれあいセンターで手芸や生花の趣味のグループで週一回は楽しんでおられるとの事です。またしあわせの村の温泉やプールその他を次々に利用したりする一日利用券を手配して、自由に楽しんでらしてもらっているそうです。

どちらの住宅もこじんまりした集団らしいコンパクトな行動をとっていられるように見受けました。

しあわせの村から

★リハビリ水泳教室 七十五歳以下の脳卒中等の後遺症でリハビリ中の人。十二月～二月の間の月曜と水曜の午後一時からの二コース、しあわせの村で。各十回。プール使用料のみ必要。申し込みは《往復葉書》で保養センターひよどり(☎六五一一一 北区しあわせの村内、☎七四三二八二六〇) 十一月十五日必着。選考。

★マンスリーコンサート 市混成合唱団。十一月十日午後一時三十分から、しあわせの村で、無料。(☎七四三二八〇〇)

北区役所から

住宅火災にご用心!

十月二十二日(火)ひよどり台南第二住宅で、二十四日には、北神戸第七住宅で火事が起こりました。一度火事になれば、大きな被害を受けるのは皆さん方です。ちょっとした注意で火災は防げます。日頃から火を扱うときには十分に注意してください。

◆チエツクの上にもチエツクを

◎火を使用している時はその場を離れない! 離れる時は、必ず火の始末をしてから。

◎お出かけ前、お休み前には必ず火の元の点検をしてください。

◎消火器・非常ベルの場所と使い方を確認。いざという時すぐ使えるように。

◎緊急の時は、すぐに非常ベルを押しましよう、とにかくみんなに知らせよう。

◎緊急の時に119番に通報ができるよう、公衆電話のある場所の確認を。

◎地域での消火訓練に参加しましょう。

◎問合せは 北消防署 ☎五九一〇一一九

◆国民健康保険被保険者証の取り替え
十二月一日から新しい保険証に変わります
保険証の切替えがまだ済んでない所帯の方は
住民登録している区役所で切替えて下さい。

お問合せは 北区役所 保険年金課 医療国民健康保険係 ☎五九一〇一一一まで

つれづれ日記 S・F

紅葉前線が山から里に下り、絢爛馥郁たる菊花と相俟って、秋の深まりを感じる。秋は人々の心に、そこはかとなき哀愁を覚えさす季節でもある。

仮設に住まう人々にとっては、去年のあの恐ろしい震災のことや、現在の状況、そしてこれからの生活の行く末を考えると、秋の夜長にあれを憶い、これを思っ、枕をぬらす夜も多いのではないだろうか。

先月、新選挙制度による衆議院議員選挙が実施されたが、この選挙期間中各政党は競って、選挙民に耳当たりのよい公約を、臆面もなく吹聴広言していた。果たしてその公約は実現されるのか、私達は重大な関心を以って監視していかなければならない。

おりしも神戸をホームグラウンドにする、オリックス・ブルーウェーブは、日本野球界の盟主を自認する巨人を撃破、日本一の王座を獲得した。正に神戸市民にとって、この上もない力強い心の贈り物として大きな夢と感動を与えてくれた。

このオリックス並みの豪打が期待できるのは各政党だ。此の際全党一致、被災市民の復興への足掛かりとなる生活再建資金を、公費を以って充当する勇氣と決断を、ホームランの快挙で応えてくれるよう、私達は鶴首する。